

意見・提案一覧

No.	分野・項目	市町村名
1	生涯学習推進事業（第2期新規事業）について	安芸市
		四万十市
		香美市
2	SDGs推進事業（第2期新規事業）について	安芸市
		四万十市
3	日曜市出店事業について	香美市
4	広域観光推進事業について	安芸市
5	統計データ活用事業について	香美市

れんけいこうち広域都市圏推進会議

意見・提案集

令和４年度第１回れんけいこうち広域都市圏推進会議 意見・提案等

No.	1
分野・項目	生涯学習推進事業（第２期新規事業）について
安芸市のご意見	<p>近年、高齢化社会の進行や情報化の進展、物質的に豊かな生活環境を背景に、生涯学習に対するニーズは多様化・高度化している。</p> <p>本市では、知識や教養の向上と心身ともに豊かな人づくりを目指して、市民一人ひとりが「いつでも・どこでも・誰でも」学習できる環境づくりを図るため、「夏季大学講座」や「公民館講座」、「生涯学習学級」、図書館の運営など、多様な学習機会の提供に努めている。</p> <p>本事業は、生涯学習に対する住民ニーズの現状把握や学習機会の拡充が期待されるとともに、各自治体の人的・財政的な負担が軽減されることから、圏域の生涯学習推進に大いに寄与するものとする。高知市夏季大学講座のオンライン受講化等の環境整備に努めていただくとともに、以下の点について提案する。</p> <p>○本市では、市制施行となる昭和29年から夏季大学講座を開講しており、テレビやラジオにはない、臨場感ある講演会のニーズは依然として根強いものがある。</p> <p>しかしながら、価値観の変化やライフスタイルの多様化により受講者は減少傾向にあり、より魅力ある講師の招聘が求められているものの、ノウハウや知見の不足、財政面での制約などに苦慮している状況にある。</p> <p>このことから、著名な講師の招聘に向けて自治体間で連携し、一行程中に複数会場で講演ができるよう一括契約することで、各自治体の人的・財政的負担の軽減を図るとともに、圏域における学習機会の更なる充実に取り組むもの。</p>
四万十市のご意見	<p>生涯学習事業は継続して取り組んでいるが、参加者の固定化・少数化が大きな課題となっている。このため、圏域で意識調査を実施し、その分析結果に基づいて生涯学習機会の創出を図っていくことは、本市の課題解決にもつながると考える。</p> <p>その他、県下で行われる講演や教室などについて、動画配信やリモートなどを活用して、県民が等しく視聴・発信できる仕組みづくりがあれば良いと考える。</p>
香美市のご意見	<p>高知市夏期大学のオンライン受講化や受講対象の拡大は、新たな学習機会の創出につながる良い案だと思われる。</p> <p>さらなる受講者の拡大にあたっては、各市町村の文化施設（公民館、ホール）などをサテライト会場としたオンライン受講が可能になれば、地域の社会人の方の参加を促すこともできるため、ぜひご検討いただきたい。</p>
高知市の回答	<p>○「人生100年時代」、「超スマート社会（Society5.0）」の到来により社会が大きな転換点を迎え、生涯学習の重要性が高まっている中、年齢や地域等に関わらず新たな学びやチャレンジができる機会の創出、学習環境の整備、多様な学習機会の提供等により、圏域住民一人ひとりが様々な分野で生涯にわたって活躍し、充実した暮らしを営むことができる圏域づくりが求められています。</p> <p>○本事業は、圏域住民の「生涯学習」に対する意識や要望等に関する調査・分析を行ったうえで、広域連携が有効な取組について検討・実施していくこととしており、圏域住民のニーズに沿った形で生涯学習の推進を図ることを目的としております。</p> <p>○ご要望のあった高知市夏季大学のオンライン配信については、本事業での実施も視野に入れているところですが、オンライン配信に懸念を示される講師がおられることや、講師謝金の増額が見込まれるなど、コスト面での課題も想定されますので、ニーズ調査の結果もみながら、実施の可能性を検討してまいりたいと考えています。</p> <p>○コロナ禍を契機に、様々な場面でデジタル技術の導入が図られており、特に若い世代にとってはオンラインツールの方が身近に感じるところがあるかと思うので、そういったツールを活用した生涯学習機会の拡充も図りつつ、安芸市からご提案のあった講師招聘にあたっての自治体間連携などにより、市町村の負担軽減にもつなげていきたいと考えております。</p> <p>○第一段階として、圏域住民のニーズ調査の実施を一つの柱とした事業であり、調査結果を踏まえて、シナジー効果を発揮できる広域連携について皆様と協議・検討してまいりたいと考えております。</p>

令和４年度第１回れんけいこうち広域都市圏推進会議 意見・提案等

No.	2
分野・項目	SDGs推進事業（第２期新規事業）について
安芸市のご意見	<p>SDGsの目指すべき目標は幅広く、行政のみでは達成が困難なものも多くあり、関係団体や企業、市民一人ひとりの理解や協力が重要である。</p> <p>本市においては、目標達成に向けた個別の取組は行っていないものの、カーボンニュートラルなどの環境問題、生活困窮者やヤングケアラー等への生活支援、少子高齢化対策、新型コロナウイルス感染症への対応など、SDGsの目指すべき目標と関連するさまざまな社会課題は、本市においても取り組むべきものと考えている。</p> <p>本事業により、市職員向けの研修会や住民向けセミナー開催のほか、パートナー登録制度の創設等に圏域が一体となって連携し、圏域住民の地域課題に対する関心を高めるとともに、SDGs推進に向けた機運の醸成を図ることが重要である。</p>
四万十市のご意見	<p>圏域において、SDGsを切り口に人材育成や情報発信などを実施していくことは、大変意義深く、本事業の取組を継続していくことで、SDGsが目標としている2030年以降も、圏域での持続可能な社会の実現に向けた取組が継続していくものとする。</p>
高知市の回答	<p>○SDGsが掲げる17の目標は、経済・社会・環境をめぐる広範な課題解決や、包摂的な社会の実現を目指したのですが、それらは地域が抱えている身近な課題とも直結しています。そうした地域課題を解決し、SDGsが掲げる目標を達成するためには、行政だけでなく、事業者や住民一人ひとりの協働による取組が必要です。</p> <p>○SDGsについては、テレビなどで見聞きする機会が増え、学校でも教材として活用されているほか、県では、令和３年度から、事業者向けの「高知県SDGs推進アドバイザー制度」や「こうちSDGs推進企業登録制度」を開始しており、県内でも一定浸透してきていると思いますが、個人単位では、自分事として結びつきづらい、意欲はあるが具体的に何をすればいいのかわからない、といった方もまだまだ多いのではないかと考えています。</p> <p>○住民の方々が、SDGsを切り口に自分事として、地域の課題に目を向け、地域活動に参画することで、課題の解決や地域の活性化ひいては圏域全体の活性化につながることから、事業化を提案をしたところです。</p> <p>○本事業では、まずはSDGsに関する理解を深め、地域課題との関連性等について知っていただくため、職員向け研修や住民等を対象としたセミナーを開催するほか、意欲・関心のある方をパートナー登録することで、市町村の枠を超えた地域活動への参画促進、地域の活性化を図るとともに、郷土愛の醸成につなげるほか、取組について特設サイトにより圏域内外に積極的に情報発信することで、圏域内外での担い手の確保・育成、関係人口の創出、地元定着等にもつなげていきたいと考えております。</p> <p>○第２期ビジョンでは、連携事業の横串としてもSDGsの視点を取り入れることとしており、本事業の推進と相まって、他の連携事業はもとより、各市町村の取組の深化にもつなげていきたいと考えております。</p>

令和４年度第１回れんけいこうち広域都市圏推進会議 意見・提案等

No.	3	
分野・項目	日曜市出店事業について	
香美市のご意見	<p>日曜市出店事業では、多くの圏域市町村で開催される街路市（曜日市）の中でも、特に顧客の多い高知市の日曜市に連携市町村の事業者が出店可能なスペースを確保いただくことで、事業者の販路拡大や顧客創出、市町村のＰＲにつながっている。</p> <p>この取組を更に拡充し、連携市町村で開催される街路市にも、高知市の事業者やその他市町村の事業者が出店できる仕組みにできないか提案させていただく。各市町村により街路市運営のルールもあり、また自市町村の事業者の売上減少につながる可能性も懸案事項として考えられるが、各市町村の街路市が活性化され、更なるにぎわいの創出、魅力の向上が期待できると考える。</p>	
高知市の回答	<p>○日曜市の「れんけい小間」への出店には、連携市町村に積極的な参画をいただくとともに、高知県産業振興推進地域本部の皆様には輪番調整にご尽力いただいております、この場をお借りして御礼を申し上げます。今後も、出店者・連携市町村・日曜市を訪れるお客様全てに満足いただける日曜市となるよう、取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>○ご提案をいただきました、各連携市町村で開催される街路市への他の市町村事業者の出店については、事業者の販路拡大や顧客創出のほか、話題性に富むことで街路市を訪れるお客様の増加にもつながるものと考えます。さらに、他市町村の事業者・商品を知ることが、その市町村を訪れるきっかけにもなり、交流人口の増加も期待されるところです。</p> <p>○一方で、懸案事項として挙げられておりますが、連携市町村の事業者にとっては売上減少につながる恐れがありますし、また出店する街路市の曜日が重複してしまうと、特に個人生産者のように単独、あるいは少人数で経営をされている方々にとっては、メリットを感じにくいという点も懸念されますので、こうした点については連携市町村や事業者のご意見をしっかりと聞きながら慎重に判断をする必要があると考えております。</p>	

令和４年度第１回れんけいこうち広域都市圏推進会議 意見・提案等

No.	4	
分野・項目	広域観光推進事業について	
安芸市のご意見	<p>第２期れんけいこうち広域都市圏ビジョンの継続事業である広域観光推進事業において、ウイズコロナ・アフターコロナを見据えた効果的な広域観光を推進し、今後の県観光の起爆剤として期待されるＮＨＫ朝の連続テレビ小説「らんまん」（令和５年４月放送開始）などを積極的に活用することで、コロナ禍で疲弊する圏域の地域経済回復に向けた反転攻勢に圏域が一体となって取り組んでいきたいと考えるのがいかがが。</p>	
高知市の回答	<p>○来春の放送が予定されているＮＨＫ連続テレビ小説「らんまん」の主人公役には神木隆之介（かみきりゅうのすけ）さんが、主人公の妻役には若手人気女優の浜辺美波（はまべみなみ）さんが決定いたしましたので、ドラマの話題性が高まり、牧野富太郎博士の出身地である高知県への観光誘客効果の期待も高まっているところです。</p> <p>○お集まりいただいております全圏域市町村長が委員として参画されています「連続テレビ小説を生かした博覧会推進協議会」における第一回目の推進協議会でも確認いたしましたとおり、高知県主体のもと、草花をテーマにした観光地づくりや、既存観光地のブラッシュアップ、女性や若者など新たなターゲット層へのアプローチなど、「らんまん」の放送を高知観光の起爆剤として、官民協働で推進していくこととなっています。</p> <p>○今後、推進協議会を中心に様々な事業に取り組むこととなりますが、こうした取組と内容が重複しないことはもちろん、連携事業化にあたっては、その事業効果が圏域全体に波及することが見込まれるかという点が重要となりますので、この点を踏まえた取組を検討していくとともに、連携市町村の皆様からも具体的なご意見等ありましたら、積極的にご提案いただきたいと思います。</p>	

令和４年度第１回れんけいこうち広域都市圏推進会議 意見・提案等

No.	5	
分野・項目	統計データ活用事業について	
香美市のご意見	<p>統計データ活用事業では、地域経済分析システム「RESAS」をはじめとする各種統計データの活用に関する研修会を広域開催いただくことで、市町村職員の統計データ活用能力の向上等につながっている。</p> <p>EBPM（根拠に基づく政策立案）の推進にあたって本事業は有効的であり、今後は例えば地域経済循環分析の作成など、様々なテーマを加えながら取組を充実させていただきたい。</p>	
高知市の回答	<p>○統計データ活用事業で広域開催しております研修会には、毎回多くの市町村職員の皆様にご参加いただいております。御礼を申し上げます。</p> <p>○強靱なデジタル社会の実現に向けたDX（デジタル・トランスフォーメーション）の核心はデータの有効活用であり、今後、ヒト・モノ・カネといった行政資源の制約が見込まれる中で、EBPMの推進はますます重要性が高まってくると考えておりますので、各種統計データを活用できる人材を育成する本事業は大変重要であると認識しています。</p> <p>○取組開始当初は、RESASやe-statといった国のビッグデータ集約サイトの基礎的知識の習得に係る研修会を開催してきました。その後はEBPMの重要性とともにこれらの認知度も高まってきましたので、基礎的知識の習得に係る研修も継続しつつ、より具体性をもってこれらを活用いただけるようにワークショップを導入したり、受講者の皆様からの要望を踏まえながら、アンケート設計・分析手法を学ぶ研修を導入するなど、年度を重ねるごとに研修内容を拡充してきたところです。</p> <p>○また、第２期れんけいこうち広域都市圏ビジョンでは、EBPMの推進に関わるデジタル化等の社会経済情勢の最新の動きをテーマに加えるとともに、他の連携事業で収集したデータ等を活用して、データ分析から施策改善提案までを一連で行う研修を開催することも検討しており、より実践的なEBPM手法を習得する機会を創出したいと考えております。</p> <p>○ご提案いただきました地域経済循環分析の作成も含め、今後さらに取組を充実させてまいりますので、引き続き職員の皆様の積極的な参加をお願い申し上げます。</p>	